

プラスチック製容器包装物のモデル回収を実施

従来はごみとして焼却処分しているその他のプラスチック製容器包装物のうち、発泡スチロール製を中心とした分別回収を、10月からモデル地区を指定して実施する予定です。

当面は市内2、3カ所に回収の拠点場所を設け、消費生活問題研究協議会などの団体に取り組みでもらい、実施していきま。そして、実施状況を把握し検討を加え、市内全域を対象に合理的で効果的な方法の導入を目指していきます。

10月1日から障害者総合在宅支援施設「せとうち旭川荘」が開所

会を開催し了承を得ました。今後は、稲刈り後に用地測量・用地買収へと順次進めていきます。

公共下水道事業の管渠工事進む

牛窓処理区は、牛窓・長浜地内の管渠工事について発注準備中で、邑久処理区も、尾張・山田庄地内の管渠工事について発注の準備をしています。

また、邑久浄化センター電気設備工事・長船中央幹線建設工事が下水道事業団により発注され、邑久浄化センター汚泥処理設備工事・長船浄化センター水処理設備工事も入札の予定となっています。

観光センターが10月1日にオープン

本市の観光拠点となる観光センター整備事業は、引き渡しが完了しました。オープンは、10月1日を予定して、当日は竣工記念式典を行い、併せて愛称を発表します。管理運営は、引き続き牛窓

障害者総合在宅支援施設は、建設工事が完了し、10月1日に開所します。

施設整備は完了しましたが、当事業はこれからが本場のスタートです。運営をする旭川荘も、障害者自立支援法施行後初めての施設であり、他の地域のモデルとなるような施設にしていきたいとの考えです。

今後市としても、旭川荘と連携しながら、施設の有効利用と新たな福祉サービス提供拠点として、障害者の自立促進に努めていきます。

地域支援マニュアルを作成し市内全域へ事業展開

8月31日に行われた「支え合いのまちづくりシンポジウム」は、孤立防止推進事業の一環として開催され、増え続ける高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者の現状と課題が、報告されました。

その解決策として「ご近所の支え合いマップ」を作成し、行政と地域の両輪で支援していき



10月オープンを間近に控えた瀬戸内市観光センター（牛窓町牛窓）

市民病院の会議室を病室に改装

本年4月から病院の職員を瀬戸内市民病院に集約し、病院機能を統合して経営改善を進めています。

4月から7月までの実績を昨年度と比較すると、救急車の受入件数は128件で1.8倍、手術件数は51件で1.3倍、当番医の外来患者数は、383人で2.5倍、延入院患者数は9、350人で1.6倍と、いずれの数値も増加し、経営改善の方向に向かっています。



支え合いのまちづくりシンポジウムでは本市高齢者の現状と課題が報告されました

現在、この取り組みを市内3地域でモデル実施していて、今後地域でどのようにして支えるか事例を積み上げ、瀬戸内市版「地域支援マニュアル」を作成し、市内全域へ事業展開する予定です。

邑久町福中地内に特別養護老人ホームを予定

特別養護老人ホーム整備については、最終的に6事業者の応募がありました。慎重審議の結果、医療法人藤田病院が新設する社会福祉法人に対し、市の意見書を書くことに決定し、8月

また入院については、4月から平均75人、ピークで92人の患者さんが入院しています。4月から病床数を、80床から110床に増床して入院業務を行っています。また、もともと80床の病室に30床のベッドを追加しているため、非常に病室が狭くなり、不便をきたしています。

このため、3階の会議室などを病室に改装し、少しでも狭い病室の解消に努めたいと考えています。

牛窓診療所の縮小に伴い本院との間に連絡用車準備

牛窓診療所の診療科については、これまでの診療科を維持するよう努力してきました。

しかし、岡山大学医学部より昨今の医師不足による状況から、10月より産婦人科の診療を休止し、整形外科についても10月から本院に診療を統合し、本院のみの診療とする旨の連絡がありました。

この対策として、これまで牛窓診療所で受診していた整形外科

5日、県へ関係書類の提出を行いました。

建設予定地は邑久町福中地内、約8千平方メートルです。今後、県のヒアリングが行われ、採択となれば事業決定します。

生活習慣改善のため特定保健指導を実施

各医療保険者が糖尿病などの生活習慣病の減少という観点から実施する、特定健診などの受診券9、236通を、配布しました。

集団健診は、8月中旬に延べ51会場、個別健診は、市内19医療機関で9、10月末まで実施します。

この結果、生活習慣病の危険性が高いと判断された人に、生活習慣改善のため特定保健指導を実施していきます。

市道山田庄山手2号線の整備

市道南北線新設事業の一環である市道山田庄山手2号線道路改良事業は、8月に山田庄、山手両地区の地権者に対し、説明

科の患者さんの利便性を図るため、月曜日の午後のみとなりませんが、牛窓診療所と本院の間に連絡用の車を準備するよう検討しています。

裳掛診療所は水曜日午前中に外科の診療を開始

裳掛診療所の市民病院からの応援体制について検討してきましたが、10月から水曜日の午前中に、市民病院から医師を派遣し、外科の診療を実施したいと考えています。

地域住民の救命率向上に努力

本市の救急件数は、8月末で948件の出動があり、前年同期より65件減少しています。

これは主に急病の減少によるものですが、逆に労働災害・運動競技・一般負傷については、若干の増加傾向となっています。

今後も、市民に対する応急手当の普及啓発を更に推進し、地域住民の救命率向上に努めていきます。